

旬刊

# 東北のあつ時報

行發日廿日十回一月每

吉梅越堀人副編印  
三廿町川新町平縣鳥福  
社報時工商北東 所行發

料告廣 部一  
錢十部一  
圓三共稅郵年ヶ一

目丁五町平  
屋(久)釜  
番九九 話電

## 相馬子爵の御曹子

### 總大將に

元龜、天正の繪卷物そのまゝに相競ふ武者千騎

## 野馬追祭の美觀

宵乗、菰被り、旗奪ひ、火の祭、野馬掛

### 堂々三日に亘る盛儀

想ふそのかみ、島へ夏の陽浴びて入る。註せらる、巳の刻に神輿の櫻田烈士五十年忌の靖國神黃昏に近く原町に至り三島警蹕も嚴かに雲雀ヶ原に乗社に招かれて、春の大路を神社境内の假御殿に神輿はり込む行列は蛇蛭二里餘に昔ながらの旗差物落花に勇安置さる。宵乗の行事とは渉る、午後の刻祭場に入りむ駒の蹄に掛けて氣負ひの之れなり野馬追の濫觴は平終つて本陣山頭に金地扇に晴れ姿に天下の人氣を取つ親王平將門に出つ、下總小日の丸打つたる御大將の馬て占めたる相馬武者の面影金ヶ原に武を磨じて兵を練印が神輿を守つて燦然たりぞ長くも先帝陛下の天覽をり馬を追へりしを奥洲に國時に中空へ狼煙一發一煙辱ふしける光榮に日本盃双換へしても氏神に献する馬の中に小旗の翻へるを見るの名をわれも誇り他人も許を狩るに擬して兵を行くしに二千の武者は馬を驅つてす野馬追祭は十一日より三が緒を作せるや即ち今は縣追ふ廣望三里の廣原は馬の日間相馬の廣野に展開され社中村太田小高の三妙見社跡に埃上る、二發一三發るのである。宵乗の行事十の祭典と再興され居る也、と揚る狼煙に此の奪旗ひの一日は中村町端也、午前九菰被り、例年遠く水戸仙臺先頭第一功名こそは我也と時より縣社中村神社に莊嚴よりの參詣人拾萬と噂せら名乗り出る迄の鐵鞭の打合なる渡御の盛式を了して南れ輿行物の軒並びて股賑をせ目ざまし

と指す神輿に従ふ、甲冑の極む、此の夜の原町は人に火の祭、夜に入りて火の祭騎武馬は百餘弓と鐵砲相次滿ちて宿なしの見物人は菰あり雪濱に白幣を負へる神を被りて大地に吟す者多し馬追への儀ありて小高町のざ神官引つ添ふ。仍て之れを菰被りと云ふ、北なる水田と河畔へかけて大總督の相馬藩士を繞る武者二百と軍服の在郷軍人多斯くて唄聲に更けて十二日貝殼に灯す幾萬とも知れぬ數その對照亦面白く斯くての天は白み來る武者は新田御神火の華さ美しさ云はん國道を進出し、中村より鹿河原を指す總勢二千餘騎とかたなし、

野馬掛、三日が當日にしてこれにて一切を止むることなる。

### 當選御禮

原町町會議員

鹽谷 推 賀友 一 賀清 三 賀儀 四 賀保 次 賀島 守 賀橋 善 賀下 米 賀馬 雄 賀田 伊 賀林 善 賀野 文 賀川 重 賀妻 藤 賀川 文

新廣中岡小山平高門松星大高大石志佐堀遠志大猪鹽  
郎實太治勉助治郎藏治榮作吉治郎郎郎正助吉成忠周

### 當選御禮

相馬郡鹿島村會議員

鹿島 運 鹿島 五 鹿島 安 鹿島 榮 鹿島 忠 鹿島 開 鹿島 勝 鹿島 朝 鹿島 憲

只野 金 大野 五 大野 安 大野 榮 大野 忠 大野 開 大野 勝 大野 朝 大野 憲

西野 金 西野 五 西野 安 西野 榮 西野 忠 西野 開 西野 勝 西野 朝 西野 憲

志賀 金 志賀 五 志賀 安 志賀 榮 志賀 忠 志賀 開 志賀 勝 志賀 朝 志賀 憲

高田 金 高田 五 高田 安 高田 榮 高田 忠 高田 開 高田 勝 高田 朝 高田 憲

佐藤 金 佐藤 五 佐藤 安 佐藤 榮 佐藤 忠 佐藤 開 佐藤 勝 佐藤 朝 佐藤 憲

## 暑中御伺

- |        |       |
|--------|-------|
| 貴族院議員  | 金城通   |
| 衆議院議員  | 比佐昌平  |
| 衆議院議員  | 鈴木辰三郎 |
| 衆議院議員  | 佐藤庄太郎 |
| 衆議院議員  | 福内和介  |
| 衆議院議員  | 野崎滿藏  |
| 衆議院議員  | 萩原義雄  |
| 衆議院議員  | 井上茂作  |
| 衆議院議員  | 石川徳壽  |
| 衆議院議員  | 山田六郎  |
| 衆議院議員  | 太田秋之助 |
| 衆議院議員  | 佐藤政藏  |
| 小野     | 野晉平   |
| 兒玉     | 萬平    |
| 古川     | 傳一    |
| 白井     | 一郎    |
| 關内     | 正一    |
| 安島     | 重三郎   |
| 青沼     | 鋒太郎   |
| 四倉消防組頭 | 金成岩吉  |
| 内郷消防組頭 | 佐藤三平  |

- 磐城炭礦株式會社 內郷礦業所
- 入山探炭株式會社 坑務所
- 古河炭礦株式會社 好間礦業所
- 小田炭礦株式會社 萩原礦業部
- 五十嵐炭礦株式會社 不動澤礦業所
- 吉村炭礦株式會社 業所
- 浪花炭礦株式會社 業所
- 杉山炭礦株式會社 業所
- 川瀨炭礦株式會社 業所
- 小田田炭礦株式會社 業所
- 植田電燈會社内

### 國安稔之助

- 當選御禮 好間村々會議員一同
- 石城郡町村長會
- 磐城片倉製糸株式會社
- 福島縣立双葉中學校
- 石城郡各學校長會
- 磐城建物株式會社
- 石城銀行組合
- 二本松電氣株式會社
- 小名濱支店
- 福島縣平町
- 磐城共濟病院事務所
- 電話六四一番

# 指定工事の完成は

## 村民の義務

### 村の發展を措害する 東作の運動家を葬れ

昭和八年五月十三日箕輪結果が當然の表れとして  
村山崎より白狐地内に至る縣指令を見るに及んで正しにしました。夕食を取る實  
救済工事割當金は四千六百く生きるべき道程の第一確に粗食に甘んじてゐる百姓  
圓にして、而かも縣の指定歩として村將來興盛のため生活の私ですら何んとも著  
せるものなるに、縣の意志に歡聲を擧げたのであつたが、それなりのものみでした  
を遮りてこれを他の工事に於ける村會議員選出の夕食を軽く済ませて  
轉回せんとする運動が開始するに及んで、否村民に不満だつた私はドンナ寝  
された明らかにかの發展を西作住民の叫んだ。否村民に不満だつた私はドンナ寝  
措止するものである。大衆の期待は東作一部策動員に居た矢先き先づブーンと  
由來高野村は山林蠶業を家によつて眞使命を裏切らじ居た矢先き先づブーンと  
以つて生計の必要に當て、れんとする動向を見るに及鼻を突く臭氣を持つた薄い  
居る關係上どうしても白狐村を思ふ正義派は飽くま布團を布いたま、挨拶もせ  
地内に至る迄の交通便益に初期の目的貫徹に向つて、下に降りてゐつた。何  
追られてゐることは、村民猛進すべく決意を固めてゐると念つて見ても來合だ不  
全体が自己擁護のためにも、努力の  
絶對認識してゐる。努力の

# 成澤温泉場の不潔

## 暴利不親切を戒しむ!!

本郡箕輪村合戸成澤温泉の敷へ案内したま、一時間ば  
且つて聞きしに勝る暴利にかりたつてから火を持つて  
して不潔なるに一驚を喫し來ましたそれから湯に入れ  
た体験者の談を左に掲載すといふから湯槽に行くとい  
(投書のまゝ)  
私は静養のために客月中成澤に驚かされた。嫌  
澤温泉に宿を求めました私な氣持になつてスグ歸り  
が宿に着いたのは午後五時といふ思つたのですが歸  
頃でしが女中らしい者が座るにしても自動車の便がな

決して忘却し得ない事實な  
之れが寢泊者の許らざる告  
白なりとせば磐城温泉同業  
同業者のためにも將來面白  
からざる結果を生ずること  
である要するに斯る非常識  
極める温泉旅館業者に對し  
ては大衆のため當局に相當  
の取締りを要望する次第で  
ある

### 小名濱町

町長 小野 晋平  
助役 高 木 保  
収入役 樋口 速  
吏員 一 同

### 當選御禮

小名濱町會議員  
立花 雄七  
飯塚 藤右衛門  
村上 淨代二  
江尻 甚太郎  
堀 越定吉  
吉田 龜之助  
小松 重兵衛  
福尾 伊太郎  
西 丸 猛  
伊藤 經太郎  
佐川 榮次郎  
藤 社 重吉  
近 藤 安雄  
岡 山 重喜  
野崎 丞之助  
高 木 惣治  
小濱 長太郎  
國井 忠太

### 社告

三 森 光 亮  
右の者今般本社編輯顧問  
として入社致し候に付何  
分共に御同情願上候  
東北商工時報社

### 暑中御伺

双葉郡久ノ濱町 橋本 久太郎  
全町消防組頭 新妻 雄一  
蠶業取締所 小林 一三  
双葉郡廣野村 村長 鈴木 忠良  
助役 大和田 忠  
収入役 小磯 軍平  
全郡大久村 村長 柳 井 義一  
助役 水野 谷 幸一  
収入役 飯島 助藏  
全郡木戸村 永山 耕一  
木戸小學校長 黒木 忠雄  
双葉郡瀧田村 久保田 清  
富岡郵便局長 蛭田 恭三  
全消防組頭 大原 榮三郎  
富岡土木監督所長 本間 廣義  
双葉郡新山郵便局長 龜田 政八  
双葉中學校長 須田 秋之進  
請戸郵便局長 濱 谷 信夫  
双葉郡請戸消防組頭 鈴木 周藏  
浪江町 松 永 織衛  
双葉幾世橋村長 志賀 一郎  
相馬郡小高町長 三島 庄藏  
相馬養蠶學校長 佐藤 弘毅

原町紡績株式會社  
掃部關廣惠

小高銀砂工場  
相馬郡小高町

石川醫院  
双葉郡長塚驛

伊澤醫院  
院長 伊澤 保藏

半谷醫院  
院長 半谷 廣男

鈴木醫院  
相馬郡小高町

太池 太彌  
東白川郡鮫川村

太池 康義

安戸屋  
魚間屋

丸一屋  
魚間屋

石川淺次郎  
材木商  
双葉木戸村

郡山銀行組合  
郡山銀行  
秋田銀行郡山支店  
安田銀行郡山支店  
湯本信用無盡株式會社  
湯本溫泉旅館組合  
湯本藝妓屋組合  
湯本二業保健組合  
植田水電株式會社  
新町軌車株式會社  
片曾根製糸所  
佐藤電氣商會

郡山市  
丸 伊 吳 服 店  
社長 今 泉 得 三  
電話 三六〇番  
私設電話認可工事並保守  
電氣瓦斯器具一式販賣  
田村郡片曾根村  
電話 三五〇番

萬度 鍋 屋 號  
金量 衝 佐藤清四郎商店  
相馬郡原町 電五七番

# 東北有名温泉案内



海に山に川の清遊に憧る、時の夏は来た。本縣下は此の清遊地に富むる名所地として天下に週知され、最も適な温泉場海水浴場に富んで居る。本社はこの行樂期に對して、卒直に旅客の満足し得る名湯地と海水浴場を紹介することにした。

**吾妻山脈の名湯温泉案内**  
 高湯、玉子湯  
 湯は清く宿は安い。二つの温泉は奥羽線坂庭駅から西に二里、自動車と馬の交通機がある。坂もだん／＼坂で老人婦人子供でも容易に登ることが出来る。吾妻山の中脈に位し海拔二千四百尺の高地にあり、泉質は硫酸泉で無色透明温度は盛夏の候と雖も尚ほ八十度を越ゆる事はなく、殊に皮膚病甘太郎に効果がある。

**附近の景勝地**  
 吾妻富士、一切經、不動瀧五色沼、公園地、運動場の設備あり、浴客は退宿する患ひなく、旅館は親切丁寧で廉價である。

海に山に川の清遊に憧る、時の夏は来た。本縣下は此の清遊地に富むる名所地として天下に週知され、最も適な温泉場海水浴場に富んで居る。本社はこの行樂期に對して、卒直に旅客の満足し得る名湯地と海水浴場を紹介することにした。

**一流旅館**  
 泉屋、信夫屋、吾妻山安達屋、三旅館が最も好評  
 會津東山温泉  
 東山温泉の名は餘りにも知られてゐる。前を流る、阿賀川水系に屬する湯川は沿岸最勝景に富み湯浴み後の散策気分など當低忘れ得ぬ風味がある。近年アユが獲れるので江戸ッ兒は特に喜んでゐる。

**横向温泉**  
 横向温泉は本縣耶麻郡吾妻村にある道路は猪苗代から福島市に至る吾妻街道がある土湯から三里野邊地温泉から二十丁餘一番便利なのは鐵道の便により磐越西線に依つて川桁驛に下車耶戸軌道の便を籍り沼尻驛に下車、一の湯旅館に至る此の温泉は特に幽山の風致に富み婦人病の名湯として知られる。

**ぬる湯温泉**  
 庭坂驛に下車西南に三里高湯行の途中オバトから左

に折れて平坦な道程を一里程で、ぬる湯温泉に至る泉質は酸性泉で眼病と腦病に効能顯著である。海拔二千五百尺山嶽重疊眺望頗る絶佳終日の眺に飽することがない。宿料も安價である。

**會津沼尻**  
 中の澤温泉 (胃腹痛の名湯)  
 軌道大原驛より六町、耶麻郡吾妻村の小塚、赤留の兩川に挟まれた納涼タツツリな場所にある。西南に磐梯山を望み。運動場及び弓場の設備がある。

**小瀧鑛泉**  
 石城郡玉川村  
 効能神経痛、リウマチス胃腸病其他諸病に良し眺望絶佳湯槽清潔にして衛生に適す  
 湯本驛泉驛より自動車の便あり

<p><b>強口唯七郎</b>                  土木請負業                  石城郡好間村</p>	<p><b>好間村會議員</b>                  役場吏員一同                  平町新川町</p>	<p><b>松崎長三郎</b>                  荒物陶器                  電話一七二番</p>	<p><b>高久忠</b>                  高久病院                  平町田町</p>	<p><b>吉田伴吉</b>                  平町</p>	<p><b>田中銅工所</b>                  田中宣治                  電話五六七番</p>	<p><b>馬目支店</b>                  和洋酒販賣店                  新川町衛生區長                  渡邊 又吉</p>	<p><b>遠藤心光</b>                  九品寺住職                  平町仲間町</p>	<p><b>和久井屋器店</b>                  平町一丁目                  電話四〇五番</p>	
<p><b>松崎長太郎</b>                  荒物醬油醸造                  電話一〇五番</p>	<p><b>丸ほん</b>                  管、漆器、家具、雜貨                  製作工場                  電話三五九番                  電話七二二番</p>	<p><b>久保田パン</b>                  平町十五丁目</p>	<p><b>谷屋吳服店</b>                  平町新川町                  電話四三七番</p>	<p><b>根本一馬</b>                  區長                  平町月見町</p>	<p><b>大角園</b>                  平町搔橋小路                  茶卸小賣                  大角 金藏</p>	<p><b>柴田書店</b>                  平町四丁目                  電話二三四番</p>	<p><b>方部校長會</b>                  田村郡小野新町</p>	<p><b>高橋龜次郎</b>                  材木商                  田村郡小野新町</p>	<p><b>鈴木靜治</b>                  田村郡小野新町</p>
<p><b>白川屋金物店</b>                  田村郡小野新町                  綠川 久作</p>	<p><b>田村實業銀行</b>                  田村郡小野新町</p>	<p><b>磐城家</b>                  藝妓家                  東條愛之助</p>	<p><b>橋本屋</b>                  旅館                  岡田 四郎</p>	<p><b>小林金伊紋</b>                  全</p>	<p><b>吉田常丸</b>                  米穀雜貨商                  田村郡小野新町</p>	<p><b>二業保健組合</b>                  田村郡小野新町</p>	<p><b>藝妓屋組合</b>                  田村郡小野新町</p>	<p><b>横山巳之七</b>                  同裁縫女學校                  田村郡小野新町</p>	<p><b>渡邊直次郎</b>                  松月堂                  田村郡小野新町</p>
<p><b>石塚醫院</b>                  磐越東線神俣驛前                  院長 石塚不二男</p>	<p><b>那須屋旅館</b>                  鐵道省指定旅館                  東白川郡豊里村</p>	<p><b>花屋旅館</b>                  全郡常豐村塙</p>	<p><b>美那登旅館</b>                  東白川郡石井村</p>	<p><b>辰己屋</b>                  旅館                  東白川郡竹貫村</p>	<p><b>小川屋吳服店</b>                  全郡常豐村塙</p>	<p><b>江口伊六</b>                  東白川郡                  土木請負業</p>	<p><b>佐川義房</b>                  東白川郡</p>	<p><b>菊地常吉</b>                  東白川郡</p>	<p><b>白坂章</b>                  平町鎌田町</p>
<p><b>會津沼尻</b>                  中ノ澤温泉                  西村屋旅館                  朝日屋旅館                  花屋旅館                  扇屋旅館                  白城旅館</p>	<p><b>沼尻温泉</b>                  田村旅館                  磐城屋旅館</p>	<p><b>横向温泉</b>                  瀧川屋旅館</p>	<p><b>會津熱鹽温泉</b>                  笹屋本館                  笹屋別館                  升屋旅館                  山形屋旅館                  吉田屋旅館                  海老屋旅館</p>	<p><b>石川郡母畑村</b>                  母畑温泉                  元湯旅館                  湯源亭</p>	<p><b>東白川郡鮫川村</b>                  湯ノ田温泉                  西島旅館</p>	<p><b>東白川郡竹貫村</b>                  湯ノ口温泉                  双葉館</p>			

# 暑中御見舞

郡山無盡 株式會社 平出張所

加藤 丈夫

鷺 清昇

高橋 龜松

信用組合平庶民金庫

平運輸株式會社

古鍛冶町 木澤 常松

鎌田町 金成 國雄

福島貯蓄銀行平支店

平藝妓屋組合

平料理屋組合

湯本藝妓屋組合

平町旅館組合

平西洋料理業組合

東部電力株式會社 平營業所

湯本信用無盡株式會社

浪江町 若林製糸所

富岡町 秋田齒科醫院

相馬郡石神村大原 鷺種業 大清館 林庄太郎

謹啓時下初夏の候貴臺益々御清祥の段奉賀上候  
 陳者小生儀名古屋醫科大學講師及東京醫務組合病  
 院長等歷任中は公私共多大の御厚情を蒙り添けな  
 く奉深謝候今般郷里諸先輩の勸誘に甘へ左記の場  
 所に於て専ら診療に従事致す事と相成候に就ては  
 將來一層の御指導と御眷顧とを賜り度伏して悃願  
 仕候 先は不取敢御挨拶を兼ね御願迄如斯御座候  
 昭和八年七月 敬具  
 福島縣石城郡平町新川町二七

醫學博士 諸橋 鐵彌

診療科目  
 ◇内藏外科 ◇婦人外科  
 ◇整形外科 ◇腦外科  
 ◇性病科 ◇皮膚科  
 ◇一般外科

### 諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋 鐵彌

入院室 手術室 完備  
 平町新川町二七(電話四六四番)

株式常磐銀行

原町支店

小高出張所

浪江出張所

株式 七十七銀行

相馬原町支店

富岡町長 早川 清久

富岡郵便局長

蛭田 恭三

浪江 驛前

浪江通運株式會社

電話三七番

雙葉郡浪江町 尋常小學校長

### 根本貞治

處方調劑醫療器械 堀藥局 藥劑師 堀 功 平二丁目 電話三二六番

### 社告

新妻 茂武 土井 世外

右者都合に依り退社致候 此段謹告候也

### 東北商工時報社

平町 瀨尾藥局 電話五五三番

平町一丁目 水野藥局 藥劑師 水野清一

平町四丁目 小野常治商店 電話一四四番

常磐銀行脇 杵 壽 電話六八九番 西洋料理 黒猫

平町二丁目 西村屋藥局 電話 園三番

綴郵便局長 四家又一 小野新町郵便局長 宗像 清

平町五丁目 山野邊藥局 藥劑師 山野邊次郎

石城郡江名町 平川醫院 石城郡江名町 山口屋 電話六一番

平町一丁目 大平屋藥店 電話六四二番

石城郡江名町 高崎喜三郎 電話五九番

豐間濱 海水浴旅館

### 濱屋旅館 大敷網事務所

電話十九番

### お醬油はヤマフル

### 山崎合名會社

電話 營業部 二十七番 本店 二十七番

### モリタヤ洋品店

平町五丁目 電話三五三番

### ぬる湯溫泉

腦病と眺病、効著し 痲病、梅毒、腫物、火傷、創傷、子宮病、皮膚病等に 好し 福島より西南四里、奥州線庭坂驛より二里 福島縣信夫郡水保村 當溫泉は親切 館主 一階堂伊藏 叮嚀を旨とす

あかんばのでさるゆ 羽前 五色溫泉 山形縣板谷 宗川旅館

奥州線板谷驛より三十町 當溫泉は浴用と内服用として効驗著し 當溫泉は海拔三千尺温眺望佳良空氣新 鮮當溫泉は夏蚊帳を用ゐるの要なし 當溫泉は冬スキの好適地なり

### 東北の名湯

高湯溫泉(岩代信夫郡) 客室 増築落成 玉子湯旅館 後藤寅次郎

福島より西南四里奥羽線庭坂驛より二重自動車の便あり吾妻の山腹にありて眺望佳良なり 弊館は萬事に注意し毫末庭不便なき様切叮嚀を本意とす「福島市より聯合自動車の便あり」